

「明日」

柏木 博之

13日(木)に小中学校の卒業式を行いました。保護者や地域の皆様、来賓の方々には、ご多用の中ご臨席いただき誠にありがとうございました。大きな感動を味わうことができました。また、この一年間子どもたちを温かく見守り、ご支援ご協力をいただきましたことに心よりお礼申し上げます。

「明日を漢字で書くと、『明るい日』となります。……明日を今日よりも明るくて良い日にしたいなら、今日とは違ったやり方に変えなければなりません。同じではダメなんですよ」

『明日』(あした)という本の一節です。この本は、発達障害の疑いのある翔太という小学2年生の男の子と自閉症スペクトラムの診断を受けコンピュータ会社に勤めている修一という青年を主人公にした話です。この二人の家族や学校、会社などにおける出来事を綴っています。著者の佐倉純一氏が入念に取材したことがわかるほど、本当にあったような描写になっています。上の一節は、トラブルがあって家や会社を飛び出した主人公の二人が偶然夜の博物館で出会い、青年が男の子に話している場面です。常にこんな気持ちを持ち続けたいいけないと思わせる一節なので、紹介させていただきました。まだまだ社会では発達障害に対する認識が低いです。この本は映画化も検討されているそうです。機会がありましたら観てください。

「明日」についても一つ紹介します。「驍の三か条」の森信三先生のお弟子さんでその教えを全国に広めている寺田一清氏は、名刺に「あすこそは」と記しています。

- ㊦ あかるいあいさつ 人より先に ㊦ すまいるステキ にこん 而今ニコニコ
- ㊦ こしぼね 腰骨立てて 一点集中 ㊦ そうじひたすら ころを磨く
- ㊦ はがきのご縁 しあわせ招く

「充実した毎日を送らせていただいています」と86歳の寺田氏は言っています。

年度最後の月・三月ももうすぐ終わります。「あすこそは」という心構えを意識して新しい年度を迎えます。

第67回三島小中学校卒業式挙行

13日(木)に、第67回卒業式を実施しました。今年度は、小学6年生の樋渡哲太君、中学3年生の齋藤武君、正野崎聖智君、佐藤詩緒里さんの4人が三島小中学校を巣立っていきました。式では、卒業生の中学校・高等学校進学に向けて、多くの方々から温かい激励のメッセージをいただきました。また、卒業生・在校生による「上げば尊し」、「校歌」、そして、お別れの歌「さよならは言わない」「旅立ちの日に」では全児童生徒及び全職員で心を一つにした合唱ができました。

多くの方々の御出席のもと、盛大に卒業式を挙行することができ、卒業生にとって、今後の目標や希望を新たに作る心に残る式となりました。御多用な中、御出席いただきました保護者や地域の皆様方、本当にありがとうございました。



学校評価を受けて

地域の皆様には、「学校評価」にご協力いただきありがとうございました。本年度の学校評価から読み取らせていただきますと成果としては

- 地域学校評価は日頃考えていることが伝わるいい機会である。
- 子供たちが運動会、文化祭、ジャンベ活動、合唱、奉仕活動等を通して大きく成長した。よくあいさつをしてくれる。
- しおかぜ留学生が島に馴染み大きく成長した。

また課題としては

- 地域や家庭に学校の考えが伝わっていない事があって困った。
- 子供を指導する立場として教師はあいさつや会話や服装の節度と日常の島民との会話における思慮を保ってほしい。

があげられました。頂いた評価は真摯に受け止め伸ばすべきところは伸ばし、改めるべきところは改めていきます。地域の皆様に支えられている三島小中学校です。子供たちはいつも皆様からの励ましの声かけに元気をもらい更にやる気を出しております。今後ともご指導よろしくお願いたします。